



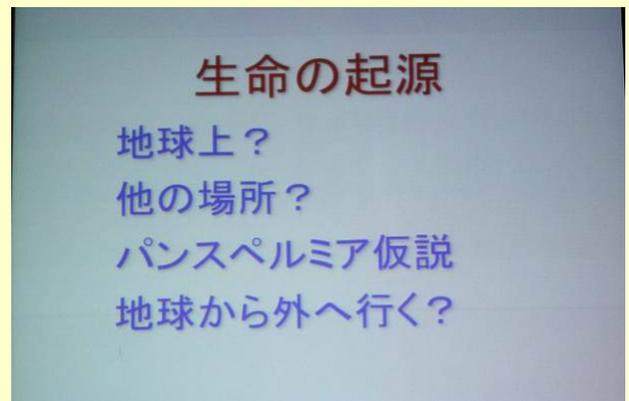
## SS科学基礎「先端科学講座」

10月28日(金)に「先端科学講座」として、東京薬科大学教授の山岸明彦先生による出張講義が「アストロバイオロジー」という演題で開催されました。

アストロバイオロジーとは、宇宙における生物学で、この単語はNASAによって考案され、NASAはAstrobiologyの分野を「宇宙における生命の起原、進化、伝搬および未来」と定義しています。

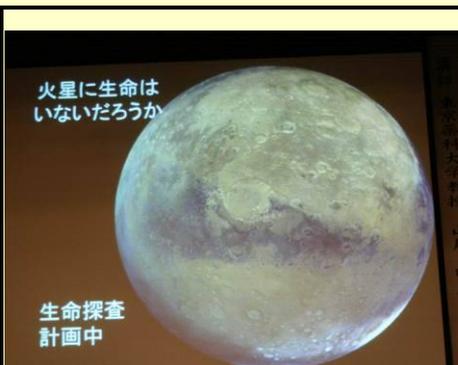
山岸先生は、国内でアストロバイオロジーに関しての第一人者です。今回の講義では、地球の歴史から始まり、熱水系の微生物群集、生命の起原、自己複製形成過程の矛盾(タンパク質が先かDNA、RNAが先か)、そして、生命の起原を宇宙で探す「たんぼぼ計画」まで多岐にわたり、興味深い話をわかりやすく解説していただきました。生徒たちの興味関心を上手に引き出していただけ、生徒たちは最後まで集中して聴講することができ、質問もたくさん出ました。

【対象】英進部 1学年



「宇宙に地球以外の生命は存在すると思うか。」の先生の問いかけに、ほとんどの生徒が存在すると思う方に手を上げました。普段聞きなれない「アストロバイオロジー」の最先端の研究について学びました。

生命の起原はいったいどこにあるのか。生徒たちにとっては興味深いテーマでした。パンスペルミア仮説など、様々な仮説があり研究が進められていることを知りました。



火星では土壌の探索などを行うなど、生命探査を計画していることを学びました。



国際宇宙ステーションにおける宇宙塵・微生物の捕集について詳しく説明して頂きました。



宇宙に関して生徒たちはとても興味を持っており、先生は生徒の質問に丁寧に答えて下さいました。